

# 理工系大学における一教員の視点から：

## コメント

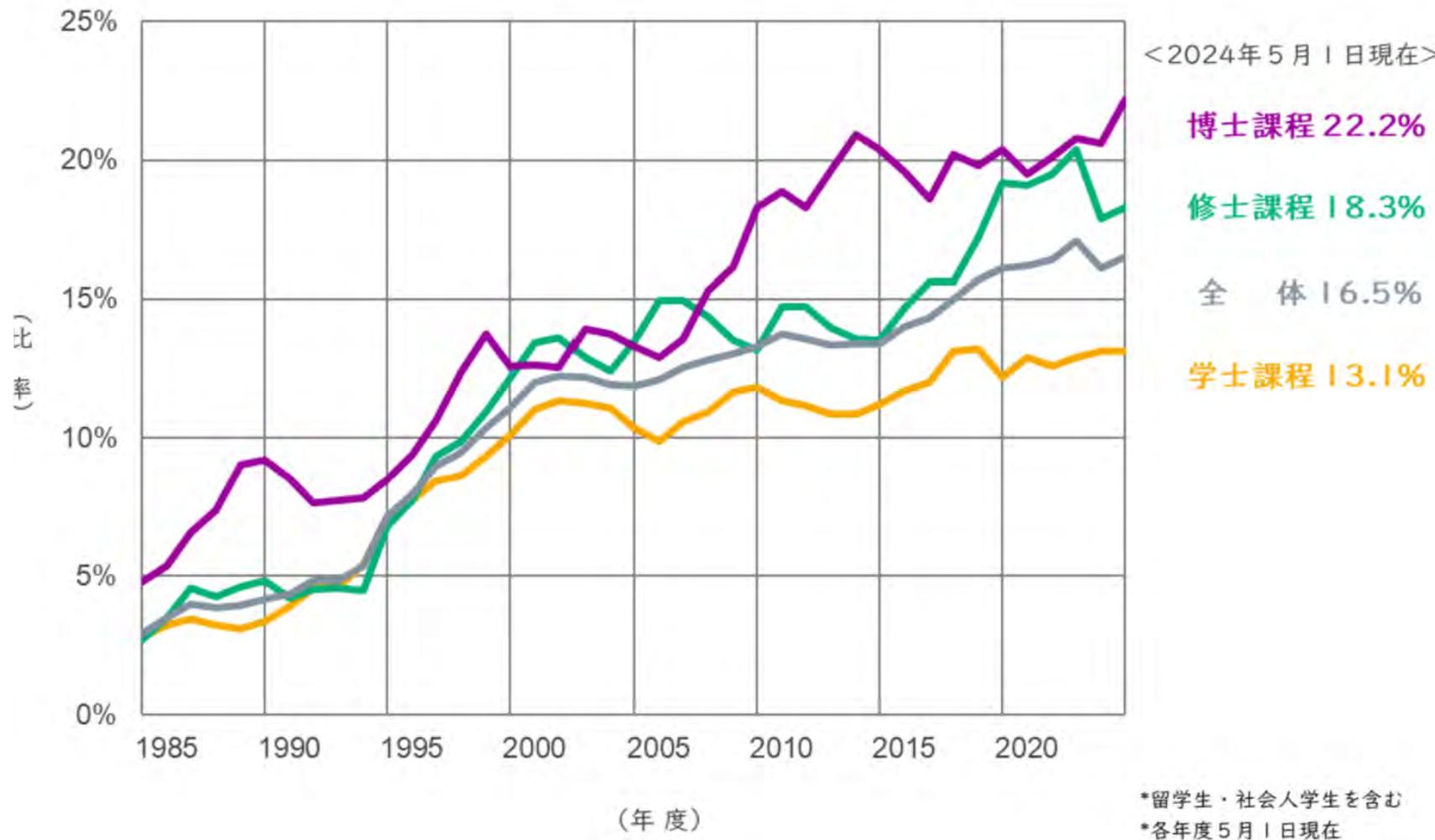
### 理工系分野の女子学生の現状と進路に関する示唆

東京科学大 名誉教授/教育本部特命教授  
腰原伸也

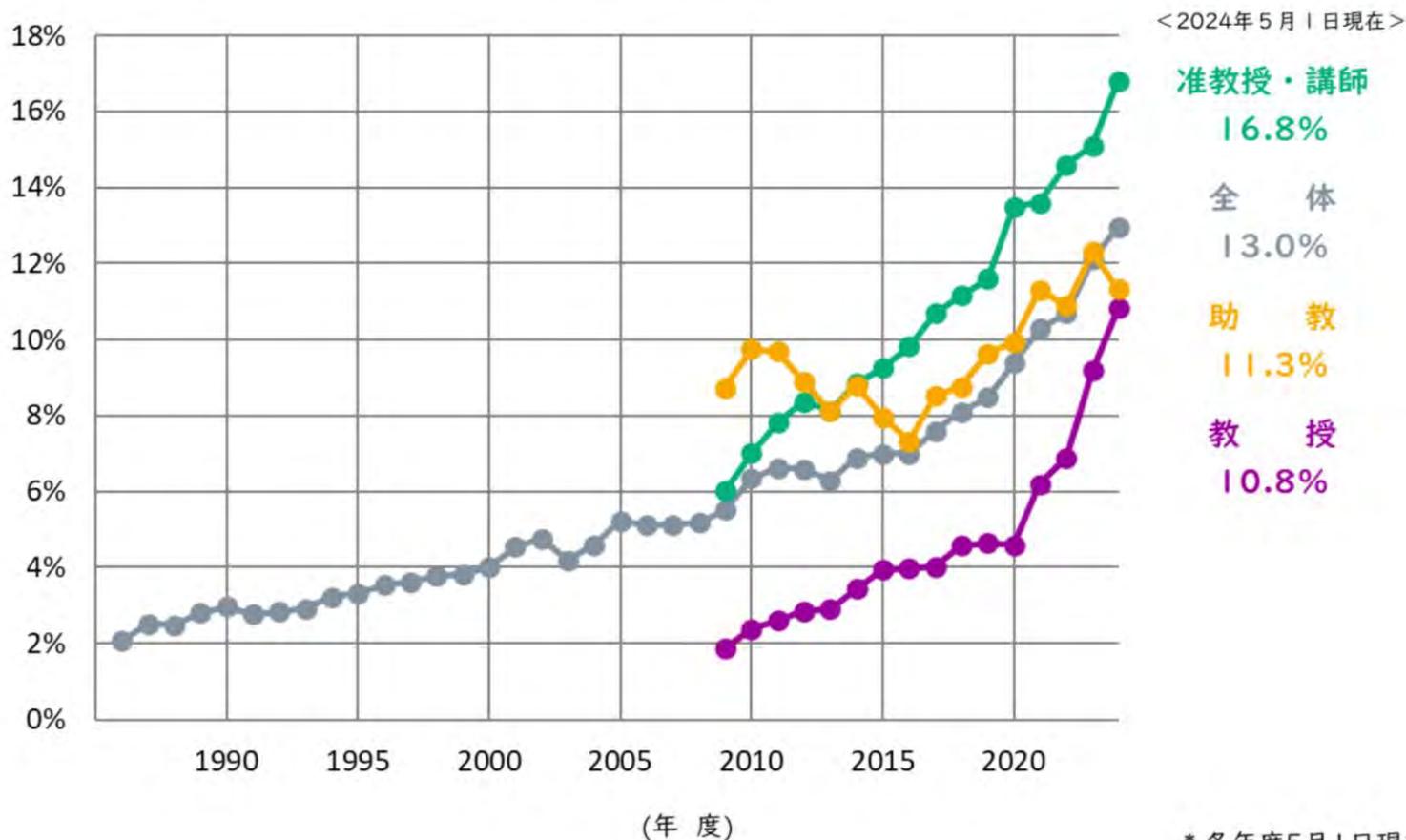
#### 8. 学生の状況（令和6年5月1日現在）

	東京工業大学	東京医科歯科大学	合計
総学生数	10,425 人	2,905 人	13,330 人
学士課程	4,771 人	1,476 人	6,247 人
修士課程	3,910 人	287 人	4,197 人
博士課程	1,655 人	1,142 人	2,797 人
専門職学位課程	89 人		89 人
附属科学技術高等学校	575 人		575 人
本科	575 人		575 人

# 東京工業大学 女子学生比率の推移



## 東京工業大学 女性教員比率の推移 (常勤・専任)



## 9. 教職員の状況（令和6年5月1日現在）

### 東京工業大学

教員 896 人（うち常勤 788 人、非常勤 108 人）

職員 568 人（うち常勤 475 人、非常勤 93 人）

### 東京医科歯科大学

教員 587 人（うち常勤 526 人、非常勤 61 人）

職員 1,539 人（うち常勤 1,258 人、非常勤 281 人）

目標1：理工学系における教員の女性割合を 11.2%以上にするとともに、医歯学系上位職（講師以上）における教員の女性割合を 23%以上にする。

目標2：職員の年次休暇等の取得を促進するとともに、男性職員における育児休業等の取得率を 20%以上にする。

令和6年度の東京科学大学における労働者に占める女性労働者の割合は 53.9%であり、教員に占める女性労働者の割合は 20.7%、管理職に占める女性労働者の割合は 31.9%であった。

東京科学大学における男性職員の育児休業取得率の令和6年度の実績は 39.3%であった。

# 東京科学大学（東工大） 学生リーダーシップ賞

学内に加え、卒業後も高い評価を受ける人々が増えている

2025年



7～8年前位から、  
女子学生が大活躍

施設改修（女性用ロッカールーム、  
休息室設置、洗面所改修）は頑張っ  
ているが予算不足、人出不足  
で、。

2023年



学生さんたちの自主的調査  
大学に正式に提出され、大学HPに掲載

# 学勢調査 2022 追加調査 報告書

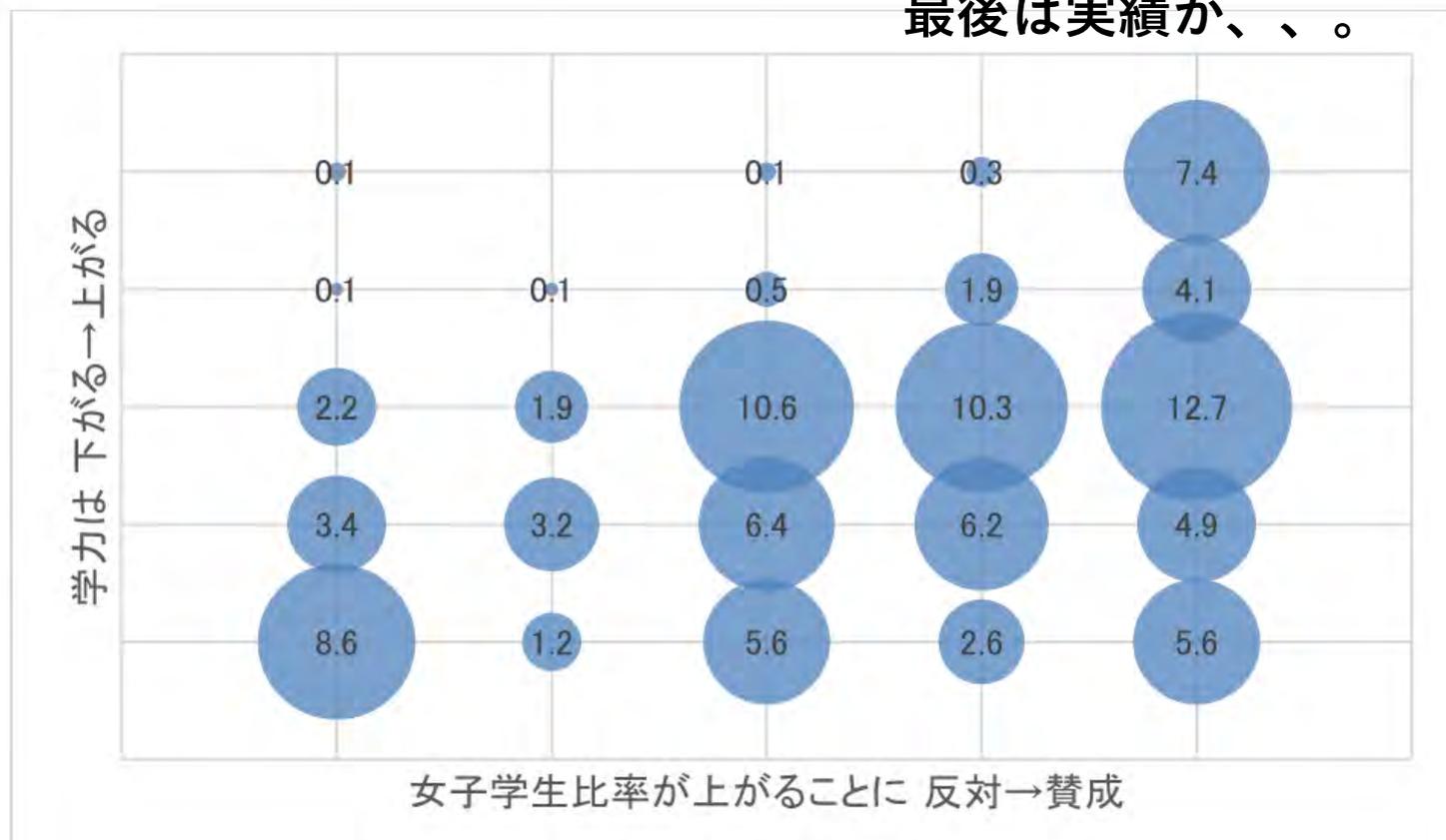
-大学統合と女子枠に関する追加調査 意見まとめ-

<https://www.siengp.titech.ac.jp/gakuseichousa/>

## 個人的な衝撃

女子枠導入によって学力が下がる  
という考えの学生さんがかなりいる  
ことに驚愕。

これが誤解であることを示して  
ゆくための活動が学内外で継続中、  
時間がかかっても皆で根気よく  
最後は実績か、。



有効回答  
1623名分  
での比率  
(%)

# 最近出た学勢調査2024

## 5：DE&I関係項目 提言5-3 入試改革目標の明確化

学生の意見 本学の入試改革について、以下の意見が寄せられました。

学勢調査2022追加調査を引用して

「女子比率が増えることそのものについては、過半数の学生が肯定的な意見を持っていることが分かります。一方で、女子枠という取り組みについては、「どちらかというところと反対」と「反対」という回答の和が過半数を占めており、「賛成」と「どちらかというところと賛成」の和については回答の約3割という結果になりました。」と述べています。

効果検証方法その上での提言として、「同時に実施する諸施策などの検討・実施状況が明確になっておらず、どのように入試改革の目標を達成するのか明確ではありません。そのため、女子枠という特別措置の施策廃止までのロードマップを作成し、公開することを求めます。」

そろそろ出口をどう設定するかの議論を求められており、これが次のパネラーの方の主題？